



目標 12：責任を持って消費する

生産・貿易・消費を知り、何ができるかを考え、行動に移そう！



世界は商品を通してつながっている

ある国で生産されたものが、他の国へ渡り、消費される。商品の選び方、使い方、捨て方によっては他国や環境に大きな影響を与えることがある。

労働の問題 ☹️ Labor Issues

指標 12.a 児童労働

現在、**1億6800万人**もの子ども(= **9人に1人**)が児童労働員として働いている。児童労働とは、日本でいうアルバイトとは違い、「**義務教育を妨げる労働や法律で禁止されている18歳未満の危険で有害な労働**」のこと。つまり、体や心に害のある仕事で、学校に行けないうらい働いているということ。農業分野が最も多く、中には、私たちが日頃食べているチョコレートのカカオ豆やTシャツに使われるコットンの栽培などがある。毎日炎天下の中で働き、給料も低く、怪我をしても対応がされず、失敗するとタバコの火を押しつけられることも。少ない休憩で長時間働かされている。(参考：東洋経済 ONLINE、CL-Net)

フェアトレード

生産者が人間らしく暮らし、正当な値段で作られたものを売り買いすること。労働環境の改善、自然環境への配慮なども基準に含まれる。

(参考：NGO ACE)



環境の問題 🗑️ Environment Issues

指標 12.3 食品廃棄物

世界では、**年間13億トン**近くもの食品が捨てられ、これは世界の飢餓で苦しむ10億人を十分に養えるほどの量であることがわかっている。また、最終的には捨てられる分の食品を作るのにも温室効果ガスが排出されるため、環境にも悪い。もちろん捨てられた食品をゴミとして焼却するとCO2も排出される。

食品が捨てられるのには主に2つの理由があり、1つは見た目が悪くて販売できないこと、2つ目は販売期限や賞味・消費期限が切れてしまうこと。まだ食べられるにもかかわらず、大量の食品が捨てられてしまっている。(参考：NEC)

フードバンク

まだ食べられるのに処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のこと。

(引用：セカンドハーベスト ジャパン)



👤 指標 12.6 企業の取り組み

CSR(企業の社会的責任)と呼ばれるボランティアや寄付活動、環境保護活動を企業活動の一部として行っている会社が多くある。また、児童労働での取引や大量の食品廃棄があるにもかかわらず、CSRを宣伝することでいいイメージを作ろうとしている企業もあるため、調べる時は注意することが必要。

(参考：東洋経済 ONLINE)

何ができる？—アクション例—

まずは、興味がある国・地域や上の中で最も興味があるトピックを選んでリサーチしてみよう！

- 知る：興味がある国の現状を調べる、どんな政策・対策があるか調べる など
- 行動する：本当に食べられる分だけ食品を購入する、フェアトレードのものを買う など
- 広める：街頭やオンライン(SNS・ブログ・YouTubeなど)で現状を広める など

自分でアクションを起こそう！ —自分の目標と計画を立てて行動に移そう—

- すぐにできること：
- 頑張ればできそうなこと：
- 挑戦したいこと：

Let's
Take Action!